

# 合併効果について

## 1 財政の節減効果

### ●年間約2億円の人件費の節減が可能

	節減額（試算）
■ 町長、教育長の廃止 ■ 議員の削減	約 5,000 万円
■ 各種委員の削減 ■ 職員 20 人程度の削減	約 1 億 5,000 万円
計	約 2 億円

- ・ 川口町の貯金（基金）とともに、新長岡市のまちづくりや借入金返済の財源として活用

## 2 行政サービスの効果

### ■ 住民の利便性の向上

- ・ 利用可能な窓口が増加する。
- ・ 支所では各種証明のほか、戸籍、国民健康保険の手続きなど、生活に密着したほとんどの手続きが可能。

### ■ 行政サービス水準の向上

- ・ 1次2次合併の旧市町村と同様、長岡市と合併することで、川口町のサービス水準は相対的に上がることが見込まれる。

### ■ サービスの高度化

- ・ 長岡市が設置している各行政分野の専門職や専任組織によるサービスの提供が川口町でも可能になる。

## 3 まちづくりにおける効果

### ■ 川口町の地域資源による長岡市の魅力向上

－川口町の観光資源や特産品を活かすことで、長岡の情報発信力が強化－

- ・ 温泉、やな場を含めた新たな観光ルートの開発
- ・ 川口まつりへの参加やタイアップ（長岡時代行列、長岡甚句民踊流し等）

### ■ 創造的復興の推進

－中越地震の震源地と一体となった創造的復興の取り組みが可能に－

- ・ 中越地震の震源地である川口と長岡（山古志）、小千谷の震災復興における連携
- ・ 「えちご川口交流ネット REN」をはじめとする川口の市民団体と長岡の復興関連団体の交流

### ■ 新たな市民力による活力の向上

－震災を乗り越えた川口町民の強い市民力と地域力－

- ・ 木沢集落住民と長岡の子育て世代の活動団体「になニーナ」との交流
- ・ 大手通りホコ天や長岡市各種イベントでの川口町物産の販売

### ■ 40万人都市の実現に向けた着実な一歩

－中越地域全体の発展に向けた地域の一体化や中核市の実現へ前進－